

令和7年度

社会福祉法人 辰野町社会福祉協議会

事業報告書

辰野町においても、生活様式や価値観の変化が進む中で、地域が抱える課題は一層複雑化しています。自治会未加入世帯の増加、単身世帯の拡大、経済的困窮や生きづらさを抱える住民の増加など、地域の姿は大きく変わりつつあります。

本会では、こうした状況に対応するため、「地域共生社会」の実現を目指し、地域福祉コーディネーターを中心とした相談支援体制の強化に取り組みました。アウトリーチによる早期支援、関係機関との連携調整、地域資源の再整理など、生活課題の複合化に向けた実践を進めた結果、地域での生活継続につながる事例も増加しました。これらの成果は、地域福祉コーディネーターの役割の重要性を改めて示すものであり、今後の体制整備に向けた確かな基盤となりました。

組織運営面では、令和6年度決算を踏まえ、「経営検討」に関する取り組みを開始しました。長野県社会福祉協議会および経営検討プロジェクトチームの協力のもと、財政状況、人材配置、事業収支、地域ニーズの変化などを多角的に分析し、課題の整理を行いました。これにより、事業運営の透明性が向上するとともに、次年度以降の計画策定においても、より実態に即した事業見直しが可能となりました。

指定訪問介護事業所・指定居宅介護支援事業所・指定相談支援事業所においては、制度改正や人材確保の課題に向き合いながら、安定したサービス提供の維持に努めました。訪問介護事業および居宅介護支援事業は利用ニーズの高まりを受けて増収となった一方、障害福祉サービスおよび相談支援事業は前年度を下回る結果となりました。

財政面では、人件費や物価の上昇により厳しい運営環境が続きましたが、「経営」という視点を職員間で共有し、各事業費の積算を精査しながら、持続可能な運営体制の確保に向けた見直しを進めました。基金の活用も含め、限られた財源の中で最大限の効果を発揮できるよう、効率的な事業運営に取り組みました。

地域を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、本会は「お互い様の地域づくり」を推進する“開かれた組織”として、住民・行政・関係団体・企業など多様な主体とつながり続ける役割を果たしてまいります。今後も職員一丸となり、地域の誰もが安心して暮らし続けられる辰野町の実現に向け、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

各種事業の実績報告

※実績の()内は昨年度比となります

■総務グループ

1. 理事会・評議員会などの開催

月	日	曜日	会議	内 容
4	24	金	理事会	・欠員に伴う評議員候補者の推薦について ・欠員に伴う常務理事の選定について ・評議員会の招集と議題について ・第3次地域福祉活動計画について
	28	月	評議員選任・ 解任委員会	・評議員の解任について ・評議員の選任について
5	22	水	監査会	・決算監査
	15	木	評議員会	・社会福祉法人辰野町社会福祉協議会理事の選任について ・第3次地域福祉活動計画について(報告)
6	16	月	理事会	・令和6年度収支補正予算について(専決処分承認) ・令和6年度事業報告について ・令和6年度収支決算について ・評議員選任候補者の推薦について ・評議員会の招集と議題について
	20	金	評議員選任・ 解任委員会	・評議員の解任について ・評議員の選任について
	30	月	評議員会	・令和6年度収支補正予算について(専決処分承認) ・令和6年度事業報告について ・令和6年度決算書について ・社会福祉法人辰野町社会福祉協議会理事、監事の選任について
			理事会	・会長、副会長、常務理事の選定について
9	5	木	評議員会	・欠員に伴う理事選任について
			理事会	・欠員に伴う副会長の選定について ・社会福祉大会における表彰者の選考について
12	2	火	監査会	・中間監査
12	17	木	理事会	・令和7年度収支補正予算(第1次)について ・評議員選任候補者の推薦について ・評議員会の招集と議題について
			評議員選任・ 解任委員会	・評議員の解任について ・評議員の選任について
12	24	水	評議員会	・令和7年度収支補正予算(第1次)について

月	日	曜日	会議	内 容
3	23	月	理事会	・令和8年度事業計画について ・令和8年度収支予算について ・評議員会の招集と議題について
	31	火	評議員会	・令和8年度事業計画について ・令和8年度収支予算について ・理事の選任について
他、毎月、会計事務所による外部監査を受けております。				

2. 善意銀行の運営

町民の皆様からの遺志金や寄付金品などをお預かりし、現金については善意銀行へ預託し、一本杖の配布に活用させていただきました。

項目	単位	令和6年度	令和7年度	
現金	件	45	53	(+8)
預託	円	1,295,378	894,919	(-400,459)
物品	件	4	8	(+4)
預託	内容	車イス、雑巾、食糧品	雑巾、食糧品、マスク	

3. 広報活動

1) 広報紙の発行

広報紙名	発行回数	発行概要
社協たつの	12	全戸配布

2) ホームページの更新

- 社協の基本情報(定款・役員名簿)、予算書、決算書、事業計画、事業報告などの情報公開をしています。
- 1)の広報紙や各種申請様式などがオンライン上で確認、プリントアウトできるような形での掲載しております。
- 指定管理三施設での行事などの開催情報も併せてご案内しております。

4. 組織活動

1) 社協会費の集金状況

種 別	令和6年度	令和7年度	
一般会員(件)	5,393	5,291	(-102)
金 額(円)	5,390,500	5,291,000	(-99,500)
特別会員(件)	94	85	(-9)
金 額(円)	188,000	170,000	(-18,000)
法人会員(件)	137	133	(-4)
金 額(円)	410,000	398,000	(-12,000)
計(件)	5,624	5,509	(-115)
計(金額)	5,988,500	5,859,000	(-129,500)

2) 会費の還元(会費として納入いただいたうち、20%を福祉活動費として各区へ還元しています。)

区 名	交付額(円)	区 名	交付額(円)	区 名	交付額(円)
小 野	113,800	川 島	40,200	上 島	12,000
唐木沢	5,200	今 村	12,400	宮 所	34,200
小横川	8,600	宮 木	224,400	新 町	73,200
羽 場	42,800	北大出	90,400	下辰野	93,200
上辰野	79,800	平 出	161,000	沢 底	21,600
赤 羽	91,600	樋 口	67,600	計	1,171,800(-25,900)

3) 辰野町老人福祉センターの管理・運営

厳しい暑さの際は町保健センター「ぬくもりの里」の冷房が効く会場を活用していただく対応をいたしました。

項 目	令和6年度(人)	令和7年度(人)	
教養娯楽室	0	0	(0)
機能訓練室	487	752	(+265)
集会室1・2	5,228	5,556	(+328)
運動指導室	1,558	1,690	(+132)
身障作業相談室	3,718	3,708	(-10)
陶芸室	0	0	(0)
相談室	113	94	(-19)
計	11,104	11,800	(+696)

■地域福祉推進グループ

1. ボランティア・市民活動の推進

1) 辰野町ボランティアセンターの利用者・団体数

項 目	令和6年度	令和7年度	
団 体 数	498	402	(-96)
利用人数	5,723	4,745	(-978)

2) ボランティア・市民活動の支援

①コーディネーターによる相談【開設日】週5日(月～金) 8:30～17:15

②各種ボランティア保険の受付

種類	加入数(件)	種類	加入数(件)
ボランティア活動保険(通年)	659(+65)	行事用保険(随時)	43(+11)
福祉サービス総合補償(通年)	7(+1)	送迎サービス補償	4(+1)

③各種体験講座の実施

月	日	曜日	内容	参加者数(人)
毎月第Ⅰ水曜日			みんなで楽しく!座ってできるストレッチ講座	述べ 400
毎月第Ⅰ金曜日			辰野高校 JRC クラブとカレンダーの塗り絵体験	30
7	29	火	かんたんなおもちゃを作ってあそぼう～つくってわくわく あそんでたのしい～	30

④福祉学習の推進

○福祉学習推進校事業 担当者連絡会 7月2日(水)開催。

○福祉学習推進校活動の紹介

- ・町内全小中学校、高校各1回ボランティア情報紙「福寿草」内に掲載
- ・福祉ボランティア学習模造紙発表

展示期間	展示者
3/2(月)～3/6(金)	辰野町民会館 エントランス
3/9(月)～3/13(金)	小野介護予防センター「たのめの里」
3/16(月)～3/23(金)	辰野町ボランティアセンター

○町内全小中学校・高校全7校を福祉学習推進校に指定し各校5万円の補助金を交付

辰野西小学校 46,720円 / 辰野東小学校 50,000円 / 辰野南小学校 49,968円

両小野小学校 50,000円 / 辰野中学校 50,000円 / 辰野高等学校 50,000円

信州豊南短期大学 50,000円

○福祉・ボランティア体験学習の実施

【辰野西小学校】

月	日	曜日	学年	内容
11	7	金	5 学年	高齢者疑似体験
	12	水	2 学年	車いす体験
	28	金	1 学年	手話ミュージック体験
12	8	月	4 学年	点字を打ってみよう
	10	金	6 学年	ユニバーサルデザインについて

【辰野南小学校】

月	日	曜日	学年	内容
1	14	水	2 学年	ボッチャ体験
			1 学年	ボッチャ体験
	20	火	5 学年	高齢者疑似体験
	27	火	3 学年	車いす体験
	29	木	6 学年	ユニバーサルデザインについて
	30	金	4 学年	点字を打ってみよう

【両小野小学校】

月	日	曜日	学年	内容
12	4	木	4 学年	点字を打ってみよう

⑤辰野ボランティア・市民活動ネットワークの運営

○辰野ボランティア・市民活動ネットワーク運営委員会の運営(運営委員 15 名/事務局 4 名)

- ・ボランティアセンター事業の検討・研究・調査・研修・推進
- ・ボランティア情報ボードの設置(町内全46ヶ所)
- ・ボランティアセンター利活用について研究協議及び充実強化

○ボランティア・市民活動振興事業助成金審査(赤い羽根共同募金配分金事業)

- ・プレゼンテーション審査会の実施 4 団体 4 事業 計 200,000 円

○各種事業

月	日	曜日	内容
4月7日(月)~4月18日(金)			お花見縁側(707 名来所)
5	23	金	ボランティアセンター備品チェック
5	27	火	ボランティア・市民活動振興事業助成金プレゼンテーション・審査会
7	12	土	ボランティアセンター大掃除
			ボランティア交流会
7	29	火	夏休み子供との交流企画 かんたんなおもちゃをつくってあそぼう
9	26	金	運営委員会視察研修 諏訪市社会福祉協議会
10月6日(月)~10月17日(金)			ボラセン秋まつり週間
10	18	土	ボランティアセンター秋まつり
11	8	土	ボランティアセンター大掃除
11	15	土	第38回上伊那ブロックボランティア交流研究集会参加
12	19	金	手芸材料バザー
2	14	土	協働のまちづくりをすすめるボランティア懇談会 ボランティア・市民活動振興事業助成金事例発表
毎月第1火曜日・定例会 / 毎月1回・ボランティア情報ボード掲示			

⑥その他

○朗読サービス

「広報吹き込みCD」利用者:5人(視覚障がい者、重度心身障がい者、寝たきりの方、ほのぼのランチ利用者のうち希望者)

「音手紙ほのぼの」利用者:100名

ボランティア:朗読グループひびき、郵便局(配達無料)

○フードドライブ(辰野ライオンズクラブとの共催)

実施期間	重さ	収集品
10月20日(月)~27日(月)	480 kg	米類(356 kg)、レトルト食品・缶詰め他

○リサイクル活動の推進

収 集 品 : アルミ缶・エコキャップ・牛乳パック・切手(未使用・使用済み)・ハガキ(未使用・書き損じ)

テレホンカード・インクカートリッジ・ベルマーク・期限切れごみチケット

「収集ボランティアの会」寄贈品 : デジタルカメラ、ラジカセ、アンプ

○各種備品貸出し

項 目	令和 6 年度(件)	令和 7 年度(件)	
アンプ	67	70	(+3)
プロジェクター	28	28	(0)
スクリーン	16	16	(0)
コードリール	12	12	(0)
マイクスタンド	7	7	(0)
ラジカセ	5	4	(-1)
テント	2	0	(-2)
大釜	0	0	(0)
車椅子	0	0	(0)
アイマスク	0	0	(0)
点字板	0	0	(0)
高齢者疑似体験セット	1	1	(0)
ミシン	1	2	(+1)
丸イス	3	3	(0)
誘導棒	2	2	(0)
三角コーン	0	0	(0)
モニター	19	19	(0)

2. 地域交流の活性化と交流のための居場所づくり

1) 辰野町はたるの里世代間交流センター「茶の間」の管理・運営

コロナ禍に減少した利用者数が少しずつ増えてきていますが、ピーク時の半分程度の人数に留まっています。

年度	1F ホール							2F ホール	計(人)	
	団体人数	20代未満	20~30代	40~50代	60~70代	80代以上	調理室			
令和 6 年度	1,742	294	163	326	1,054	371	48	1,289	5,551	
令和 7 年度	1,782	253	120	265	1,067	317	72	1,216	5,093	(-458)
	(+40)	(-41)	(-43)	(-61)	(+13)	(-54)	(+24)	(-73)		

2) 町民講師による生涯学習となる講座の開催

月	日	曜日	内容	参加者数
4	25	金	山野草茶和会(以降、年12回開催)	83
7	5	土	歌Café ハーモニカと楽しむ	11
9	6	土	ウクレレサークル「コスモス」ミニコンサート	36
11	8	土	クリスマスカードを描いてみよう	5
1	22	木	縫わないうさぎのおひな様を作ろう	20
3	7	土	歌Café サクソフォンと楽しむ	30

3) 展示コーナー活用による町民作品展

展示期間	展示者
4/4(金)~4/30(水)	切り絵教室「切り絵作品展」
5/7(水)~5/31(土)	木川充浩「絵手紙作品展」
6/17(火)~6/27(金)	山野草茶話会「山野草展」
7/1(火)~7/31(木)	中谷勝明「蛇石写真展」
8/5(火)~8/29(金)	切り絵仲間「切り絵作品展」
9/2(火)~9/29(月)	ちぎり絵の会「ちぎり絵作品展」
10/2(木)~10/31(金)	絵手紙「和の会」「絵手紙展」
11/5(火)~11/28(金)	千年の罫・空口からん「絵画二人展」
12/5(金)~12/25(木)	着物リメイク教室「リメイク作品展」
1/15(木)~1/21(水)	フラワーサークルあやめ「新春アレンジメント展」
1/27(火)~2/14(土)	高齢者編物教室「編物作品展」
2/19(木)~3/7(土)	たつの荒神山公園春祭り サテライト展示「雛人形展」
3/16(月)~3/28(土)	Alumaの糸かけ教室「糸かけアート展」

【福祉事業グループ】

1. 在宅福祉サービス

1) 辰野町養育支援訪問事業育児・家事援助事業(町委託事業)

育児ストレス、産後うつ病、育児疲れなどの問題によって、子育てに対し不安や孤立感を抱える家庭や様々な原因で養育支援が必要になっている家庭に対して、子育て経験者による育児・家事の援助を訪問し、個々の家庭の抱える養育上の諸問題の解決・軽減を図ります。

項目	令和6年度	令和7年度
利用者数	4	3 (-1)
利用回数	27	20 (-7)

2) ふれあい型配食サービス「ほのぼのランチ」

町内在住の高齢者・障がい者・介護者などを対象に、毎週木曜日に調理ボランティア手作りの昼食用弁当を配達ボランティアにより配達し安否確認を行います。一食 400 円。

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	
調理ボランティア(人)	37	36	(-1)
配達ボランティア(人)	30	19	(-11)
弁当調理数(延べ数)	2,806	2,625	(-181)
利用者数	95	90	(-5)

3) 在宅介護者リフレッシュ事業(町委託事業)

介護保険で介護度Ⅰ以上の療養者を在宅で常時介護されている方を対象に、日頃の労をねぎらい、心身のリフレッシュと介護者間の情報交換・交流を深めるために交流会を開催いたしました。事業の浸透により、昨年比で希望者が増えました。また、過去にⅠ度参加されたことをきっかけに、「今年も参加したい」とリピーター希望者が多く、介護者間の交流による情報交換の機会やリフレッシュの機会としての有意性を感じていただけている印象です。

月	日	曜日	会場	参加者数
9	11	木	鮎辰	12
	12	金	小佐加鯉店	8
	30	火	NOSOTTO	9
10	1	水	肉の三河屋	10
	6	月	みのわ竹輪邸	10
	10	金	WhiteCream	7
計				56 (+18)

4) 日常生活用具の貸与

車イスや電動ベッドなどの福祉用具を無償貸与します。福祉用具の事業所の電動ベッドの自費レンタルが一般化しており、社協貸与の費用(運搬料や消毒料等)と比較すると短期利用については福祉用具事業所の自費ベッドレンタルの方が費用負担少ない事もあり、問い合わせがあったときに費用面・メンテナンス面等のメリット・デメリットを説明するようにしたことで、福祉用具事業所からの自費レンタルを選択する方が増え、電動ベッドの新規貸与が減っています。

車イスについては、短期貸し出しの件数が増えており、外出や旅行等必要な時のみ必要な場合に利用する方が多く、また、リピーターも多い印象です。(L 字ベッド柵、浴槽台、点滴台については貸出実績ゼロのため、表からぬいております)

項 目	令和 6 年度(件)	令和 7 年度(件)	
電動ベッド	6	4	(-2)
車イス	20	41	(+21)
歩行器	2	1	(-1)
4 点杖	3	0	(-3)
松葉杖	0	3	(+3)
ポータブルトイレ	4	4	(0)
スロープ	0	1	(+1)
計	35	54	(+19)

5) 一本杖の配布

善意銀行を財源として、町内在住で75歳以上の方へ杖を生涯に1本のみ無料でお配りしています。担当ケアマネからの紹介や口コミによる希望者が多くいらっしゃいました。

項目	令和6年度(本)	令和7年度(本)
配布数	72	64 (-8)

6) 通所型介護予防事業 ミニデイサービス「よつば」(町委託事業)

町内3か所(月・川島、火・新町、金・小野)でミニデイサービス事業を行いました。介護度がつくなど参加者の状況に変化があり、全体でも参加者が減少傾向となっております。

①川島会場

項目	令和6年度	令和7年度
回数	41	42 (+1)
人数	183	167 (-16)
サポーター	43	48 (+5)

②新町会場

項目	令和6年度	令和7年度
回数	49	49 (0)
人数	177	144 (-33)
サポーター	46	45 (-1)

③小野会場

項目	令和6年度	令和7年度
回数	49	48 (-1)
人数	275	169 (-106)
サポーター	45	47 (+2)

7) 認知症カフェ(町委託事業)

「オレンジカフェ」として認知症の方やその家族を含め、誰でも気軽に参加でき、カフェのようにお茶を飲みながら語りあう交流の場を提供します。辰野町はたるの里世代間交流センター「茶の間」を会場に、認知症サポーターが対応いたします。毎月第2水曜日の10時~12時に実施しています。

項目	令和6年度	令和7年度
実施回数	12	12 (0)
当事者・家族(人)	29	22 (-7)
その他参加(人)	49	54 (+5)

8) 「はたるの里 つながる広場」

はたるの里 つながる広場は、障がい者週間をきっかけに地域のみなさんが交流し、お互いを理解し、誰もが暮らしやすい辰野町を目指すことを目的としたイベントを実施しました。

当日は参加者、参加事業所含めて114名の参加がありました。



9)ひとり暮らし高齢者のつどい

今年は2回共に県外へ足を延ばしての実施となりました。毎回、受付開始と共に定員に達してしまう状況が続いているため、受付方法などについての検討が必要です。

実施日	内容	参加人数
5/28(水)	バスハイク(新潟県上越市高田世界館歴史散策)	35
11/11(火)	バスハイク(山梨県忍野八海と河口湖遊覧船)	37
計		72 (+1)

10)福祉有償運送移送サービス事業の実施

町内在住で、ひとりて公共交通機関の利用ができない方を対象にした移送サービスを1時間1,500円で行います。出発・到着のいずれかが辰野町内であることが条件です。現在はストレッチャー対応の車両が経年劣化・修理不能な状態で使用できないこと、利用件数の減少が懸案事項です。

項目	令和6年度(件)	令和7年度(件)
入退院	23	29 (+6)
通院	653	414 (-239)
その他	74	20 (-54)
計	750	463 (-287)

11)福祉車両の貸出

町内在住で、車イスによる移動が必要な方とその家族を対象に無料で車イス搭載車両の貸出を行います。在宅で介護をしている方々が減少しているせいか、貸出の実績も減っています。

項目	令和6年度(件)	令和7年度(件)
入退院他	142	82 (-60)

12)地域たすけあい事業「ゆいっこ」

地域にお住まいの方同士による「お互いさま」の気持ちを大切にしたい助け合い活動です。サポーターの皆さんが有償(10分100円)で、身の回りの家事援助や通院付添などのお手伝いを中心に行う会員制の事業です。

①登録者

項 目		令和 6 年度(人)	令和 7 年度(人)	
前年度登録者数		44	57	(+13)
新規 登録者数	男性	4	6	(+2)
	女性	16	16	(0)
登録削除 者数	男性	4	0	(-4)
	女性	3	3	(0)
計		57	76	(+19)

②新規申込み経過

項 目	令和 6 年度(人)	令和 7 年度(人)	
本人から	2	8	(+6)
家族から	3	0	(-3)
友人から	0	0	(0)
ケアマネジャーから	15	13	(-2)
民生児童委員から	0	0	(0)
ヘルパーから	0	0	(0)
行 政	0	1	(+1)
計	20	22	(+2)

③サポーターについて

項 目	令和 6 年度(人)	令和 7 年度(人)	
男 性	9	8	(-1)
女 性	13	16	(+3)
計	22	24	(+2)

④支援実績(支援内容別・延べ回数)

支援内容	令和 6 年度(回)	令和 7 年度(回)	
付添(買物他)	135	86	(-49)
付添(通 院)	229	304	(+75)
付添(役 場)	21	15	(-6)
付添(銀 行)	16	20	(+4)
付添(その他)	18	10	(-8)
ゴミ出し	403	380	(-23)
掃除	18	2	(-16)
草取り	32	31	(-1)
家事	11	6	(-5)
散歩	64	0	(-64)
雪かき	16	2	(-14)
計	963	856	(-107)

13) 生活支援体制整備事業(町委託事業)

①生活支援コーディネーターの配置

圏域	担当者	地区名
第1・2層	赤羽 美香	辰野町全域
第3層	湯本 千織	小野、川島、下辰野、平出
	佐藤有妃子	唐木澤、今村、宮所、小横川
	瀬戸 八州	新町、上辰野、沢底、赤羽、樋口
	荻原ゆりか	上島、宮木、羽場、北大出

※以下、第1・2層生活支援コーディネーター・・・1層SC、第3層生活支援コーディネーター・・・3層SCと標記する

②生活支援等サービスのコーディネート等に関する業務

ア)生活支援等サービスの把握および創出

地域住民(本人、家族)、ケアマネジャー、町高齢者相談支援センターより生活支援に関する相談を受け、本会で実施している「ゆいっこ」やNPO法人辰野自立生活支援の会「あかり」事業への紹介を行いました。

イ)支援ニーズの把握、個別支援の展開

分類について

項目名	内容
地域アセスメント	住民へのヒアリングやアンケート、統計データの分析、地域の特性や社会資源の洗い出しなどを行う。
関係形成	地域に溶け込み、日常的な対話や交流を通じて顔の見える関係構築を行う。地域アセスメントを共同で行うことも、関係形成の重要な機会とする。
立上げ運営支援	活動拠点の確保、ボランティアの募集、イベントの企画、助成金申請の支援などを行う。
会議支援	会議の進行役(ファシリテーター)、事前の準備、資料作成、議事録作成、参加者間の調整などを行う。
連携調整	関係機関のネットワーク構築、情報共有の仕組みづくり、役割分担の調整などを行う。
個別支援	本人や家族との面談、個別支援計画の作成、適切なサービスへのつなぎ、見守りなどを行う。個別支援から見えてくる地域課題は、地域づくりの一步ととらえる。

○生活支援コーディネーターの活動状況(参照:別表①)

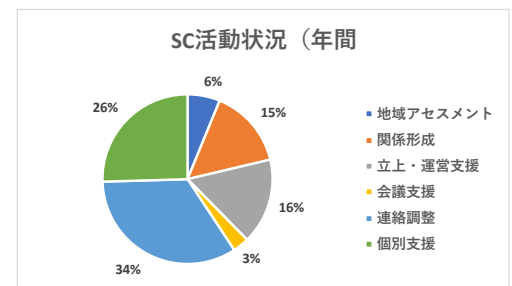
年間通しての数値を確認すると、連絡調整、個別支援、立上げ・運営支援、関係形成の順に多くなっている。それぞれのSCが本事業だけでなく、事業担当者として動いてもおり、それらを完全に住み分けて数値がすることは本年度については難しい状況であり、令和8年度については、その報告項目についても検討が必要です。

令和7年度については、「地域の強み調査」を行いました。それが活動区分の中における「地域アセスメント」数値に影響しているかは定かでないため、調査結果の取りまとめについては行わない事としました。SC自身がどのように地域に出ていくか、そして、地域の様子を把握するのか。と言った事について、引き続き検討が必要です。

別表①

○生活支援コーディネーターの活動状況

	前期		後期		計	
地域アセスメント	28	8.36	12	3.83	40	6.17
関係形成	76	22.69	22	7.03	98	15.12
立上・運営支援	25	7.46	81	25.88	106	16.36
会議支援	18	5.37	2	0.64	20	3.09
連絡調整	77	22.99	142	45.37	219	33.80
個別支援	111	33.13	54	17.25	165	25.46
	335	100	313	100	648	100



○相談件数・受付状況(参照:別表②)

来所・電話・訪問の3項目の割合とすると、ほぼ同数です。また、いずれも相談者自身からの相談が圧倒的多数を占めています。

自らSOSを発信できない方々をどのように支援していくのが課題となっています。なんとなく、地域の中であそこの〇〇さんは…という形で地域の中で把握されたり、心配されている方も多い様子もうかがえます。しかし、そこにどうやって切り込んで良いものか非常に難しく、「個人情報」や「プライバシー」という観点でも踏み込めない現状があります。

別表②

○相談件数・受付状況(※個別支援のみ抽出)

		前期		後期		計	
来所	本人	43	82.69	54	96.43	97	89.81
来所	家族・親戚	2	3.85	2	3.57	4	3.70
来所	地域	1	1.92	0	0.00	1	0.93
来所	行政	3	5.77	0	0.00	3	2.78
来所	その他	3	5.77	0	0.00	3	2.78
計		52	100	56	100	108	100
		前期		後期		計	
電話	本人	8	15.38	78	89.66	86	72.88
電話	家族・親戚	1	1.92	1	1.15	2	1.69
電話	地域	0	0.00	2	2.30	2	1.69
電話	行政	6	11.54	5	5.75	11	9.32
電話	その他	16	30.77	1	1.15	17	14.41
計		31	59.6154	87	100	118	100
		前期		後期		計	
訪問	本人	20	38.46	78	98.73	98	91.59
訪問	家族・親戚	2	3.85	0	0.00	2	1.87
訪問	地域	0	0.00	0	0.00	0	0.00
訪問	行政	1	1.92	1	1.27	2	1.87
訪問	その他	5	9.62	0	0.00	5	4.67
計		28	53.8462	79	100	107	100



○相談内容内訳

実績報告に必要な集計項目としての設定をしておらず、数値報告は不可となっています。肌感として、地域における生活困窮や生活をしていく上で何かしらの課題を抱えながら生活している住民が以前より増加した印象があります。これが増加なのか、顕在化してきたのかについて詳細は不明です。相談者自身の健康問題×困窮という組み合わせでの相談が多い傾向にあります。また、困窮に関しては年金生活者だけでなく、子育て世代や単身世帯など多岐にわたる年齢層の相談が寄せられています。

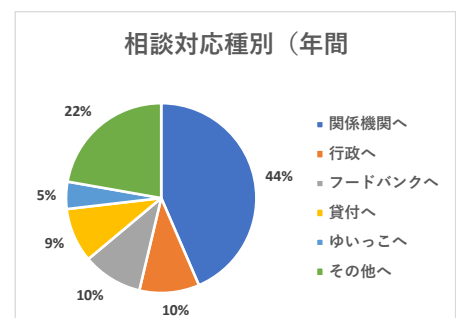
○相談に対する対応種別(参照:別表③)

SCがかかわった相談において、半数近くはまいさば上伊那、医療機関などの関係機関や行政へつなぐケースであった。その一方で、本会内の事業である「フードバンク辰野」や「地域助け合い事業ゆいっこ」、「くらしの資金」や、ケアマネジャーなどにつなぐケースも見られました。

別表③

○相談に対する数対応種別

	前期		後期		計	
関係機関へ	20	18.02	74	70.48	94	43.52
行政へ	6	5.41	16	15.24	22	10.19
フードバンクへ	19	17.12	3	2.86	22	10.19
貸付へ	16	14.41	4	3.81	20	9.26
ゆいっこへ	8	7.21	2	1.90	10	4.63
その他へ	42	37.84	6	5.71	48	22.22
	111	100	105	100	216	100



○ニーズ把握

①1層 CO へ関係機関からの相談事例が集約され、相談者の居住地区に応じて3層 CO が対応

②3層 CO によるアウトリーチ（ふれ愛サロンや地域の強み調査）を通じて

以上の2つの方法でニーズ把握を想定していましたが、個別に対応しているものもあり、正確に把握するための本会内での検討が十分にできませんでした。相談記録のソフトを活用しているが、記録の精度に個人差がある状況が改善できずにいるため、次年度への懸案事項として引き継ぎます。

把握できている課題としては以下の通りとなっています。

- ・身寄り問題
- ・家計管理ができない事に起因する生活困窮者の増加
- ・生活支援サポーターの位置づけ
- ・個人情報の壁
- ・支援機関（民生児童委員や社協など）と行政機関の連携

○個別支援の展開

相談者への聞き取りを中心として、ふれ愛サロンや介護保険の申請、生活支援事業の紹介、食糧支援、貸付事業などの案内を行うと共に、必要に応じて個人情報共有の同意が取れた方については関係機関との情報共有を行いました。

また、今までにない取り組みとして、若年性認知症を発症していると思われる住民に関する相談が寄せられました。第3層 CO が町高齢者相談支援センター保健師と共に訪問し、介護保険サービスへつなげる事ができました。身体的機能は自立度が高く、地域との係わりも持ちながら生活されていることが明らかになりました。自宅で暮らし続ける上で、地域住民の理解と受け止める土壌をつくるべく、本人同意の元、地域ケア個別会議が開催されました。本人の病状への理解と併せて、対応方法などについても地域住民からの質問もあり、地域の中で柔らかく見守り続ける体制ができてききかけともなりました。

ウ)関係者間のネットワークの構築

○民生委員・児童委員地区会への出席

要援護者の方の生活状況や困りごとの把握と、生活支援コーディネーター・地域福祉コーディネーターの役割を周知し、ネットワーク構築に向けた、顔の見える関係づくりのため、民生委員地区会へ出席しました。

開催日	出席会議	出席者
令和7年6月	民生委員地区会(5地区)	生活支援コーディネーター
令和8年2月	民生委員地区会(5地区)	生活支援コーディネーター

エ)ニーズと取組みのマッチング

生活支援サポーター養成講座を開催し、サポーターとしての活動意向のあった5名に対して各事業所とのマッチングを行いました。

オ)アウトリーチを活用し地域特性の把握、地域課題の発見

令和7年度については町内4地区（上島区・宮所区・平出区・赤羽区）において、「地域の強み（お宝）」調査を行いました。令和8年度に継続、年度末には調査の結果をフィードバックする予定です。

○諸課題への対応

課題①

ひとり暮らし高齢者や身寄りの無い高齢者の日常的な金銭の管理について、最終的には後見に繋げていく形となるかと思うが、その間を支援するような仕組みの必要性を感じています。

↓

令和7年度「身寄りに関する勉強会」へ参加したが、導入部分の講演でした。次年度から検討委員会が立ち上がると伺っています。辰野町における現状や専門職・専門家の意見を伺い、本会での事業化（現在の金銭管理・財産保全サービスの要綱改訂や死後事務を取り扱うための新事業の検討などに次年度取り組んでいきたいと思っています。）

課題②

生活支援サポーターの位置づけについて。生活支援と介護予防それぞれに分けて考える話が出ては消え…の状況が続いています。

↓

令和7年度は生活支援サポーター養成講座を実施することができ、その中で参加者より下記のような意見が寄せられました。

○辰野町の現状が分からない。（困っている方がどのくらいいて、何に困っているのか。など）

○何か、じぶんにできる事があるならば、手伝いたい気持ちがある。でも、情報がない。どこに行っても聞いていいのかも分からない。

○ボランティアポイントが施行される前にきちんと整理をする必要がある。

2ヶ月に一度行われている定例会の中でこう言った事にどう対応していくか…など具体的な話ができるとうい。

③協議体および地域ケア会議等地域の支え合い活動に関する業務

□実施状況

ア) 第1・2層における協議体運営を地域包括支援センターと協力し企画・運営を行う。

○第1回：12月19日（金）10:30-12:00

○第2回：3月13日（金）10:30-12:00

イ) 第3層における協議体の運営支援

○11月9日（日）10時～12時 小野区（災害時の避難所、地域防災力の向上）

ウ) 地域資源の把握及び創出

○社協広報紙の表紙にて、町内の「通いの場（地域の縁側）」を紹介

エ) 住民学習会等による地域住民への啓発、育成

○小野区春宮耕地において「認知症」についての学習会が地区・高齢者相談支援センター職員・3層 CO・地元施設が連携して検討されている。

オ) 「ふれ愛サロン」におけるレクリエーション指導等の運営支援

内容	実施回数
レクリエーション指導	21
ニュースポーツ指導	18
その他（支え合いに関する講話、災害時のボランティア活動について）	4

□協議体等から抽出された内容の実施状況

3月13日（金）に開催された第2回目の「たつの つながる協議体」での意見集約などは令和8年度に実施予定。

④サービス・支援の担い手となる生活支援サポーター等の養成に関する業務

□実施状況

ア) 住民参加型の生活支援サービスを実施するため、その担い手となる地域住民を養成し、協力者（サーター）として録しました。

イ) 登録された生活支援サポーターに対し、継続的に地域で活動できるようフォローアップの研修を行います。

○生活支援サポーター養成講座の実施

開催日	内容	参加人数
2月6日(金)	・辰野町における高齢者の現状と「地域の助け合い」について	8
2月9日(月)	・生活支援サポーターの役割と守秘義務について	6
2月17日(火)	・お話を伺う基本姿勢「傾聴」について	7
3月4日(水)	・ボードゲームを通して「地域の支え合い」を考えてみよう	5
3月6日(金)	・「地域の助け合い」とボランティア活動について	5

□サポーターの活動状況(活動内容等)

○ミニデイサービスよつば(38名)

○リハビリ教室(10名)

○地域たすけあい事業「ゆいっこ」(27名)

⑤町保健福祉課・高齢者相談支援センターとの連絡会

□実施状況

ア) 定期的に、進捗状況の確認、ケース相談等の場を持つ

開催日	内容
令和7年4月10日	・協議体の実施について ・生活支援体制整備事業委託内容の確認 ・地域たすけあい事業「ゆいっこ」実施状況共有
令和7年6月6日	・地域包括ケア推進講演会について検討 ・「地域の強み調査」について確認 ・地域たすけあい事業「ゆいっこ」実施状況共有
令和7年8月1日	・事業の進捗確認 ・協議体実施におけるイメージの共有
令和7年10月3日	・生活支援サポーター養成講座に関する検討
令和7年12月5日	・協議体開催に向けた内容確認 ・生活支援サポーター養成講座に関する検討
令和8年2月26日	・健康長寿応援広場について ・第2回協議体内容確認
毎回、個別ケースの共有と地域における「通いの場」などの情報共有を行う。	

2. 高齢者福祉サービス

1) 高齢者教室の開講

太極拳、いきいきダンス、社交ダンス、健康麻雀、編み物に加え、ヨガを新たに追加し、開講しました。

項 目	令和 6 年度(人)	令和 7 年度(人)	
教室数	6	6	(0)
開催回数	130	132	(+2)
参加者数	884	731	(-153)

2) 福祉機器利用促進

辰野町老人福祉センター内にある健康機器を地域の皆様に活用していただきます。割当日は第 2 水曜日(竜東)、第 3 水曜日(小野雨沢)とし、9 時～11 時実施。300 円/人。自由日は毎週火・金曜日の 13 時～16 時。利用料無料。定期的に利用されていた方々がお見えにならなくなり、利用者減に転じました。

項 目	令和 6 年度(人)	令和 7 年度(人)	
割当日	71	57	(-14)
自由日	460	815	(+355)
計	531	869	(+338)

3. 相談事業の実施

1) 心配ごと相談・法律相談の実施(毎月第2・4金曜日の 13 時～15 時、心配ごと相談員による相談窓口を設置しました。)

①相談内容

項 目	令和 6 年度(件)	令和 7 年度(件)	
生 計	3	2	(-1)
職業・生業	4	3	(-1)
住 宅	5	1	(-4)
家 族	7	5	(-2)
離 婚	1	1	(0)
財 産	5	4	(-1)
高 齢 者	6	3	(-3)
障がい児・者	0	0	(0)
苦 情	2	1	(-1)
精神衛生	8	7	(-1)
健康関係	5	3	(-2)
医 療	4	3	(-1)
人権・法律	4	5	(+1)
結 婚	1	1	(0)
年 金	4	1	(-3)
そ の 他	5	2	(-3)
計	64	42	(-22)

4. 生活援護サービス

1) 各種貸付の実施

物価高騰の影響を受けてか、「くらしの資金」に関しては、初めて申請に来る方が増加しました。

項目	内容	単位	令和6年度	令和7年度	
くらしの資金	低所得者世帯やひとり親世帯、高齢者世帯、障がい者世帯で小口の貸付を希望する世帯へ貸付を行います。	件	41	33	(-8)
		金額	1,583,000	1,363,000	(-220,000)
療養費福祉金	高額療養費分の貸付を行います。	件	0	0	(0)
		金額	0	0	(0)
医療費特別給付金	辰野町の住民であって、辰野町の医療費特別給付金受給者証が交付されている者が、医療費一部負担金の支払いが多額のため一時的に支払いが困難な場合、医療費一部負担金の見込額から1レセプト当たり500円を差し引いた金額の貸付けを行います。	件	131	65	(-66)
		金額	1,106,222	522,529	(-583,693)
生活福祉資金	低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。	件	0	0	(0)
		金額	0	0	(0)

2) 金銭管理・財産保全サービス

町内在住の方を対象に、高齢者や障がいをお持ちの方々でも地域で安心して暮らし続けることができよう、契約に基づき日常的に金銭管理サービスや書類等の預かりサービスを提供する事業です。

①金銭管理サービス

項目	令和6年度(人)	令和7年度(人)	
65歳以上利用者	11	10	(-1)
その他(障害による)	8	6	(-2)
計	19	16	(-3)

②財産保全サービス

項目	令和6年度(件)	令和7年度(件)	
預り財産(通帳)	21	28	(+7)
預り財産(印鑑)	17	13	(-4)
計	38	41	(+3)

3) 日常生活自立支援事業(実施主体:長野県社会福祉協議会)

認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でないため日常生活での福祉サービスの利用や、金銭管理等がうまくできない方々を対象として、福祉サービスの利用などに関わる相談やお手伝い(援助)をし、その生活を支援する事業です。県社協による事業実施者の見直しが行われました。

項目	令和6年度(人)	令和7年度(人)	
65歳以上利用者	1	0	(-1)
65歳未満利用者	3	3	(0)
計	4	3	(-1)

4) 法人後見事業

後見人は、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度です。本会では、法人として成年後見人を受任しております。

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	
申請件数	0	0	(0)
受任件数	2	3	(+1)
計	2	3	(+1)

5) 食品アクセス確保緊急支援事業

上伊那広域における経済的な食品アクセス対策を目的として、農林水産省の「食品アクセス確保緊急支援事業（円滑な食品アクセスの確保に向けた地域の体制強化）」の補助金を上伊那ブロック社会福祉協議会の幹事社協である伊那市社会福祉協議会が受け、上伊那郡内の社会福祉協議会、行政機関、そして子ども食堂を運営する NPO 法人などの関係者の皆様と連携し、協議会を立ち上げると共に、地域の課題に応じた広域的な困窮者支援の仕組みづくりを推進しました。

6) 特例貸付フォローアップ相談支援体制強化事業

令和6年度まで行っていた「緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業」から名称を変更し、コロナ特例貸付終了後の借り受け世帯に対して、単なる債権回収ではなく、借り受け世帯の「生活再建」に重点を置いたフォローや相談対応を実施しました。

内容	令和6年度(件)	令和 7 年度(件)※1	
相談件数	149	45	(-104)
情報提供	2	8	(+6)
訪問	35	6	(-29)
面談	11	31	(+20)

※1: 令和 7 年度は調査項目を「生活困窮」の支援に絞った集計を行いました。

7) 福祉事務所未設置町村における相談事業

生活困窮者や、家族、その他関係者からの相談に対応する窓口を設置し、相談者へ必要な情報の提供、助言、関係機関との連絡調整、他制度や他機関への紹介等を行いました。

相談者の年齢層としては、60 代が全体の 40%しめている。次いで、50 代が 20%、40 代が 15%と続いている。

相談内容についても、「くらしの資金」貸付希望・生活困窮が 70%を超えており、相談者の多くが厳しい生活状況にある様子がみてとれる。

相談方法	令和 6 年度	令和 7 年度		(内訳)	
				新規	伴走
電 話	18	21	(+3)	4	17
来 所	38	48	(+10)	24	24
訪 問	37	14	(-23)	3	11
メール	1	0	(-1)	0	0
その他	5	2	(-3)	0	2
計	99	85	(-14)	31	54

8) 生活困窮家庭における学習・生活支援事業(県委託事業)

生活困窮者自立支援法を根拠法として、「自立支援:様々な貧困の連鎖を断ち切り将来的に自立できる「生きる力」を育む」、「孤立防止:地域や「社協」との繋がりを作り世帯丸ごとの支援をするとともに伴走支援を行う」、「学びのチャンス:子ども達の希望を中心に学習だけでなく様々な体験の機会を創出する」を目的に事業を実施する。

項 目	令和 6 年度(人)		令和 7 年度(人)	
	男性	女性	男性	女性
小学生	0	0	0 (0)	0 (0)
中学生	0	1	0 (0)	0 (-1)
高校生	0	2	0 (0)	2 (0)
計	0	3	0 (0)	2 (-1)

9) 「フードバンクたつの」

町内在住の生活困窮者を対象に食糧品の提供を行います。年末には「くらしの資金」貸付利用者などを対象にした「フードパントリー」を実施し、22 世帯 46 名を対象に食糧品を配布いたしました。昨今の物価高騰や経済状況の変化の影響を受けてか年々食糧品を希望する世帯が増加している傾向にあります。

項 目		令和 6 年度	令和 7 年度
希望世帯	初回	15	19 (+4)
	複数回	36	39 (+3)
寄付受入		51	58 (+7)

10) ほたるこども食堂(共催:辰野ライオンズクラブ)

令和7年度途中より、配布弁当の作成業者が変更になり、1回あたりの配布数が変更になったため、全体の配布数自体が減少しました。

項 目		令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数		12	12 (0)
お弁当配布数		2,160	1,800 (-360)
内訳	大人	778	658 (-120)
	高校生	89	29 (-60)
	中学生以下	1,293	1,113 (-180)
世帯数		659	496 (-163)

【介護保険事業】

1. 在宅福祉サービス

1) 居宅介護支援事業

①職員体制：正規職員 4 名 嘱託職員 1 名 登録職員 2 名

②利用者数(延べ)

項 目	令和 6 年度(人)	令和 7 年度(人)
介護保険利用者数	1,382	1,600 (+218)
介護予防利用者数	615	614 (-1)
総合事業利用者数	67	51 (-16)
計	2,064	2,265 (+201)

2) 訪問介護事業

①職員体制：正規職員 3 名 嘱託職員 4 名 (うち、介護福祉士 7 名)

登録職員 7 名 (うち、ヘルパー 2 級 2 名、介護福祉士 4 名、看護師 1 名)

②介護保険サービス

○利用者数

項 目	令和 6 年度 (件)	令和 7 年度 (件)	
訪問介護※2	658	644	(-14)
訪問 A サービス	198	198	(0)

※2・身体介護、生活援助、身体生活の合算

○サービス実績

項 目	令和 6 年度 (件)	令和 7 年度 (件)	
身体介護	4,715	6,086	(+1,371)
生活援助	686	159	(-527)
身体生活	1,799	1,654	(-145)
訪問 A サービス	1,042	1,193	(+151)

③障がい福祉サービス

○利用者数

項 目	令和 6 年度 (件)	令和 7 年度 (件)	
居宅介護※3	170	144	(-26)
同行援護	15	0	(-15)
重度訪問介護	0	0	(0)
移動支援	118	109	(-9)

※3・身体介護、生活援助、家事援助の合算

○サービス実績

項 目	令和 6 年度 (件)	令和 7 年度 (件)	
身体介護	2,433	1,282	(-1,151)
家事援助	935	294	(-641)
同行援護	43	0	(-43)
重度訪問介護	0	0	(0)
移動支援	696	776	(+80)

【障がい児・者の日常生活及び社会生活支援事業】

項 目	令和 6 年度 (人)		令和 7 年度 (人)			
	町内	町外	町内		町外	
計画相談支援	69	28	70	(+1)	18	(-10)
障害児相談支援	29	29	36	(+7)	20	(-9)
計	98	57	106	(+8)	38	(-19)

【赤い羽根共同募金運動の推進】

1. 赤い羽根共同募金運動の実績

1) 募金集計

項目	令和6年度(円)	令和7年度(円)	
個別募金	3,001,400	2,898,961	(-102,439)
法人募金	244,200	272,000	(+27,800)
その他※4	93,619	54,362	(-39,257)
計	3,339,219	3,225,323	(-113,896)

※4・募金箱への募金等

2) 配分金

項目	令和6年度(円)	令和7年度(円)	
備考	令和5年度実績に基づく配分	令和6年度実績に基づく配分	
金額	2,413,681	2,375,219	(-38,462)

3) 配分実績一覧

事業名	配分額(円)
老人福祉活動費(高齢者教室、ひとり暮らし高齢者のつどい、町シニアクラブ連合会補助金)	300,000
障害児・者福祉活動費(ほたるの里つながる広場)	10,000
児童・青少年福祉活動費(福祉学習推進校事業補助金、福祉・ボランティア学習のつどい、ほたるこども食堂等)	290,000
福祉育成・援助活動費(フードバンクたつの、福祉車輛貸出事業、町遺族会・民生児童委員協議会補助金、社協広報)	1,475,219
ボランティア活動育成事業費(ボランティア・市民活動振興事業助成金)	300,000
計	2,375,219